
それでも俺は

竹刀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

それでも俺は

【Nコード】

N5178B

【作者名】

竹刀

【あらすじ】

気分最高っ！！今日も可愛い私！！絶好の告白日和だわ！！というわけで、私、真琴は本日、大好きな彼に告白しますっ！！

顔を洗い鏡を覗き込んで、ニヤリと笑う。

「顔面の筋肉、よしっ！」

今日の私は一段と可愛い！！

寝癖を直して自室へ舞い戻り、学校指定の制服に着替える。

そして再び鏡を覗き込んで、チャームポイントのピンで前髪を留める。

さすが私っ！何着ても似合うわ！

さすがに声に出しては言わないが、今日は特別な日だ。

そう・・・ずっと前から好きだった幼馴染の彼に告白をするのだ。

自分に自信を持たなければ上手くいくことも上手くいなくなるっ

！！と誰かさんがほざいていた気がする。

今日はその誰かさんの言葉に乗ってみようと思うのだ。

そうこうしているうちに、彼との待ち合わせの時間だ。

「いつてきまーす！！」

「気をつけていくのよ」

母親から弁当を受け取り、玄関を飛び出して彼との待ち合わせ場所へ。

「おはよう！」

「ああ、真琴。おはよう。てか、その髪に留めてるピンは何だ？」

「あのさ！ノブ！」

「華麗にスルーしやがった・・・何だよ？」

「・・・好きなの!!」

「・・・何が？」

「だ〜か〜らあ〜、ノブのこと！」

「・・・ちゃんと、顔洗ってきたか？」

「当たり前でしょ!!」で、へ・ん・じ・は？」

「そんなのノーに決まってるだろ？」

「・・・え・・・」

私は手に持っていた鞆を取り落とす。

「ひどいわっ!!」ちよつと位考えてくれたって・・・」

「・・・お前は今すぐ自分の性別を確認しろっ!!」

そう言われて、自分の胸を触る。

・・・。

そこにはたくましい胸板があった。

「え？あ、ああ・・・俺、男じゃん。」

「・・・」

そうだった、俺は男だ。

何やってんだ？俺。

「そうだ!!」思い出したぞ!!」

「・・・何を。」

「あれは、昨日の夜のことだった。」

「何でそんな語り口調なんだ？」

「俺は思ったんだ。最近の少年漫画はつまらない、と。」

「・・・漫画もいいが、勉強をしろよ。」

「だから妹の部屋にある少女マンガを借りて読んでみたのだ。その漫画の主人公の女の名前は真琴だった。そのせいで、俺はどんどんその主人公に感情移入して行った。」

「・・・健全な男子高校生が少女マンガに感情移入するなよ。」

「でさ、その主人公の大好きな幼馴染の男がお前にそっくりでさー」

「・・・んで、洗脳されたってわけか？」

「うん、まあほとんど眠りながら読んでたからかもな・・・」

「眠りながら本を読んだら洗脳されるのか？お前は。」

「へ？・・・誰でもそうなんじゃないのか？」

「・・・お前と一緒にするなよ・・・」

「それでも俺さあ・・・」

「あ？」

「それでも俺は、お前のことが好きだよ？」

「・・・俺は好きじゃない。」

こうして、俺たちの日常は始まる。

（後書き）

えーっ、勢いで書きました。

即興というやつです。

特に同性愛者を批判するような意識はないのですが、もし不愉快になられた方がいましたら、こんな作品を思いついてごめんなさい。評価、感想の方もよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5178b/>

それでも俺は

2010年12月29日02時11分発行